

共通語彙基盤

イベント
情報交換パッケージ (IEP)
v1.0

平成27年2月3日

目 次

1. 本 IEP の目的	1
2. データ項目	2
3. IEP 活用の流れ	15
3. 1 新規システム構築の場合.....	15
3. 2 既存システムの場合.....	16
4. コード等	17
4. 1 コード、データ.....	17
4. 2 グローバル対応.....	17
5. サンプル	18

図 表 目 次

図 1 IEP を介したデータの連係.....	1
図 2 主なデータ項目.....	3
図 3 詳細データ項目.....	13
図 4 英語対応、schema.org 対応.....	14
図 5 新規システムでの導入イメージ.....	15
図 6 既存システムでの導入イメージ.....	16
図 7 サンプル 1.....	19
図 8 サンプル 2.....	20
図 9 サンプル 3.....	22
図 10 サンプル 4.....	23

1. 本 IEP の目的

イベントとは、特定の日時に開催される催しや活動のことである。講演会や祭り等をはじめ、災害時の給水活動等もイベントである。

官民で様々なイベントが日常的に行われているが、目的や地域によってイベントの記述方法が様々であるために、複数のイベントのデータを組み合わせて活用しようとする変換が必要な場合が多く、情報の広域での交換などが十分にできていない。

そこで、イベント情報を交換する時の共通的な交換方法が必要となる。既存のシステムのデータ構造を変更する必要はないが、相手先にあわせてデータ変換する時に参照すべきデータ一覧が必要となる。

本 IEP (Information Exchange Package:情報交換パッケージ) は、イベントの情報を公開、交換、管理するために整備されたものである。実装に当たっては、共通語彙基盤の語彙セットを本 IEP と合わせて参照されたい。

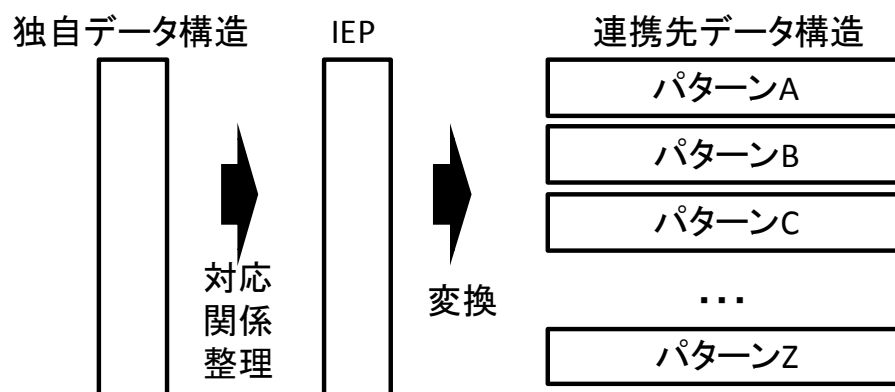


図 1 IEP を介したデータの連係

IEP 活用のメリット

- ・組織内外の多くのシステムと情報交換がしやすくなる
(調整やインタフェース改造が不要)
- ・情報項目に定義があるので、誰が見ても誤解なく情報が活用できる
- ・新規システム開発では、データ設計が標準的なデータでできる

2. データ項目

データ項目と記述イメージは、以下の通りである。灰色項目はその下に記述された項目を組み合わせることで、アプリケーションで自動生成できる項目である。ただし、構造化した住所等を使用しないで、直接記入することも可能である。

データ項目名	説明	備考
名称	イベントの正式名称を記載。	
英語名称	イベントの英語名称を記載。	
通称	イベントが通称を持つ場合に記載。	
種別	イベントの分類を記載。	
期間	イベントの期間を記載。	
要約	一覧などに載せる簡易な説明を 100 文字以内で記載する。	
説明	イベントに説明がある場合には記載。	
出演者		
対象者	対象者を記載。	
人数	募集人数、参加可能人数を記載。	
料金	参加料金を記載。	料金詳細項目から自動生成する
持ち物	イベントに必要な持ち物がある場合に記載。	
開催場所	開催場所の名称を記載。	
住所表記	都道府県、市区町村、町名を連続して記載。その後、丁目、番地、号をハイフンで接続して半角で記載。「東京都千代田区霞が関 1-3-1」	連絡先詳細項目を登録することで、自動生成する。 住所のデータ構造の詳細は住所 IEP を参照
郵便番号	郵便番号を半角、ハイフンなし、連番で記載。	
アクセス	地物までのアクセス経路を記載する	アクセス詳細項目を登録することで、自動生成する。
参加方法	参加の方法を記載。	
申込方法	申し込みの方法を記載。	
託児施設	託児施設の内容を記載。	
参照	イベントを説明する情報がある場合には、その参照先 url 等を記載する。	
画像	画像がある場合には、参照先 url 等を記載。	
関連イベント	上位イベントやサブイベント等の関連のイベントがある場合に記載。	
主催	主催者を記載。	
共催	共催者を記載。	
後援	後援者を記載。	
連絡先	地物に関する連絡先がある場合には、	連絡先詳細項目を登録する

	その内容を記載。	ことで、自動生成する。
--	----------	-------------

図 2 主なデータ項目

アプリケーションでは、図 2 のデータが利用者に見える。また、地物情報に施設情報、設備情報を付加することで施設や設備の情報を表現する。

データベースでデータを管理する場合の IMI 対応は以下のとおりである。

ic:イベント型						
ic:ID						イベントにIDを記載するときには、以下にどのコード体系を使うか記載。
	ic:体系					
		ic:名称				ID に名称がある場合に記載。
		ic:発行者				ID を発行する組織名を記載。
		ic:バージョン				ここで使用する ID のバージョンを記載。
		ic:URI				ID に URI がある場合に記載。
	ic:識別値					ID の実際の値を記載。この部分が一般には表示される。
ic:名称						イベントの名称を記載する。
	ic:種別					「正式名称」、「英語名称」「通称」「サブタイトル」等の種別を記載。
	ic:表記					名称を記載。
	ic:ローマ字表記					英語名もしくはローマ字名を記載。
イベント目的						「見る・聴く」「参加・交流」「学び」「相談」「競技・コンテスト」「サービス利用」
ic:種別						イベントの分類を記載する。 「お知らせ」お知らせ全般（税金、断水等） 「医療・衛生」検診等、医療・衛生に関すること 「福祉」年金、支援制度等、高齢者や障がいに関すること 「生活」子育て、ゴミ等、生活に関すること 「芸術・文化」演劇、演奏会、展覧会等 「スポーツ・健康」大会、教室

						等 「催し」祭、フリーマーケット等の催事 「募集」市民活動、ボランティア等の募集 「防災・防犯」防災訓練等 「自然・環境」自然観察会、花の配布等 「会議」会議案内、傍聴募集等 「求人」職員等の求人 「その他」その他 複数選択可能	
	ic:期間						
		(ic:イベントスケジュール型の場合)					
		ic:開催日				一日だけの開催の場合の開催日。列挙可。YYYY-MM-DD。	単発のイベントとして告知する場合
		ic:開始日				イベントが開始する日。	単発のイベントとして告知する場合
		ic:終了日				イベントが終了する日。	単発のイベントとして告知する場合
		ic:開始時間				イベントが開始する時間。	単発のイベントとして告知する場合
		ic:終了時間				イベントが終了する時間。	単発のイベントとして告知する場合
		ic:説明				スケジュールの説明や例外など	単発のイベ

						を記載。	ントとして告知する場合
		(ic:定期スケジュール型の場合)					
		ic:種別				スケジュールの種別。「週間」「月間」「年間」などを指定する	定期的イベントとして告知する場合
		ic:開催期日				このスケジュールが有効となる日。「週間」スケジュールの場合は曜日を指定し、「月間」スケジュールの場合は月の中の日を指定し、「年間」スケジュールの場合は年の中の月日を指定する	定期的イベントとして告知する場合
		ic:有効開始日時				このスケジュールが有効になる日時。	定期的イベントとして告知する場合
		ic:有効終了日時				このスケジュールが無効になる日時。	定期的イベントとして告知する場合
		ic:開始時間				指定された曜日に場所やサービスが開始する時間。	定期的イベントとして告知する場合
		ic:終了時間				指定された曜日に場所やサービスが終了する時間。	定期的イベントとして告知する場合
		ic:説明				スケジュールの説明や例外などを記載。	定期的イベントとして告知する場合

ic:要約					一覧などに載せる簡易な説明を100文字以内で記載。
ic:説明					イベントに説明がある場合には記載。
ic:キーワード					イベントにキーワードがある場合に記載。
出演者					イベントに出演者や講演者がある場合に記載。列举可。
ic:対象者					「小学生」「高校生以上」等の条件がある場合に記載。保護者同伴等も記載
ic:人数					募集人数や収容人数を記載。
ic:料金					
	ic:種別				料金の種別を記載。「大人」「団体割引(大人)」「一日」等。
	ic:金額				
		ic:数値			価格を円単位、半角数字で記載。
持ち物					必要な持ち物がある際に記載。
ic:開催場所					
	ic:ID				地物にIDを記載するときには、以下にどのコード体系を使うか記載。
		ic:体系			
			ic:名称		IDに名称がある場合に記載。
			ic:発行者		IDを発行する組織名を記載。
			ic:バージョン		ここで使用するIDのバージョンを記載。
			ic:URI		IDにURIがある場合に記載。
		ic:識別値			IDの実際の値を記載。この部分が一般には表示される。
	ic:名称				地物の名称を記載する。
		ic:種別			「正式名称」、「英語名称」等の種別を記載。

		ic:表記		名称を記載。
		ic:カナ表記		名称のカナ名を全角で記載。
		ic:ローマ字表記		英語名もしくはローマ字名を記載。
	ic:通称			地物が通称を持つ場合に記載する。
	ic:地理識別子			緯度、経度、高度または深さ、座標参照系の順に区切り文字なしに記載。スラッシュ「/」で終わる。 地点が、面や線などを表す場合には、代表地点を記載。
	ic:住所			
		ic:種別		「代表地点」等、住所項目に解説が必要な時に使用する。
		ic:表記		都道府県、市区町村、町名を連続して記載。その後、丁目、番地、号をハイフンで接続して半角で記載。
		ic:国		国名を記載。
		ic:国コード		国名コード（2文字）を記載。
		ic:都道府県		都道府県名を記載。「東京都」「神奈川県」のように、都道府県まで記載。
		ic:都道府県コード		全国地方公共団体コード（左2桁）を記載。
		ic:市区町村		市町村名、および、東京都の場合は特別区名を記載。郡は、「〇〇郡〇〇村」と記入。北海道で総合振興局の記載が必要な場合には、市町村名の前に記載。
		ic:市区町村コード		全国地方公共団体コード（右4桁）を記載。
		ic:区		政令指定都市の場合は、区を記載。

		ic:町名			町名、大字等、文字での住所記載部分を記載。	
		ic:丁目			半角数字	
		ic:番地補足			丁目以降の数字の前に、「東」「北」「浜」「甲」等の文字が付く場合には記載。	
		ic:番地			半角数字。	
		ic:号			半角数字。町名の後ろに数字が1つしかない場合はここに記載。	
		ic:ビル名			ビルに、「新館」等の日本語補足があるときには、「〇〇ビル新館」の要に記入	
		ic:ビル番号			半角英数字	
		ic:部屋番号			半角数字	
		ic:方書			ビル名、ビル番号、部屋番号を連続して記載。	
		ic:ID				
		ic:住所コード			住所を表すために、第三者が提供する既存のコード体系を活用する場合に使用する。	
			ic:コード種別		コードの体系を記載する。	
			ic:識別値		ID の実際の値を記載。この部分が一般には表示される。	
		ic:郵便番号			郵便番号を半角、ハイフンなし、連番で記載。	
	ic:地理座標					
		ic:座標参照系			座標の参照系を記述する。	
		ic:緯度			緯度を、-90から+90で記載。「+」「-」は必ず記載。10進表示の場合は、小数点以下6桁まで記載。度分秒表示の場合は、秒の小数点以下1桁まで記載。	小数点以下6桁は、数cm程度の精度
		ic:経度			経度を、-180から+180で記載。「+」「-」は必ず記載。	小数点以下6桁は、3m程

					10進表示の場合は、小数点以下6桁まで記載。 度分秒表示の場合は、秒の小数点以下1桁まで記載。	度の精度
			ic:測地高度		メートル単位の整数で記載。	
		ic:アクセス				
			ic:種別		最寄地点からのアクセス手段。 鉄道、バス、徒歩、など	
			ic:アクセス区間		アクセス方法の各区間の一覧	
				ic:種別	最寄地点からのアクセス手段。 鉄道、バス、徒歩、など	
				ic:始点	最寄地点（駅、バス停、インターチェンジ等）	
				ic:始点備考	最寄地点までの交通手段など、最寄地点の捕捉説明となる情報。鉄道の場合、「事業会社路線名」で記載。複数路線があるときには「,」区切り	
				ic:時間	最寄地点からのアクセス時間	
			ic:地図		地図	
			ic:備考		その他の補足情報。	
		ic:参照			地物を説明する情報がある場合には、その参照先 url 等を記載。	
		ic:画像			画像がある場合には、参照先 url 等を記載。	
	ic:参加方法				「現地集合」「動きやすい服装で参加」等、参加条件があるときに記載。	
	申込方法					
		種別			一般、障害者、優先等	
		期間			申込期間を記載。時間や当日消印等の詳細条件は備考に記載	
			ic:開始日時			

		ic:終了日時				
	申込書類入手方法				窓口での配布、インターネット等の入手方法を記載。	
	申込手法				電話、郵送等の申し込み方法を記載。	
	申込先				申し込みの送付先、提出先を記載。	
	選抜方法				抽選、先着順等を記載	
	通知方法				電話、郵送、そのまま来場等の申込結果の通知方法を記載。	
	申込 web サイト				申し込みの web サイトがあるときには記載。	
	備考				時間や当日消印などの備考も必要	
イベント託児施設					託児施設の有無や条件を記載。	
	申込方法					
	料金					
		ic:種別				
		ic:価格				
	託児施設_締切					
イベント参照					イベントに関連した情報があるURLなどを記載。	
イベント画像					イベントに関連した画像がある場合に添付。	
ic:関連イベント						
	ic:ID					
	ic:名称					
	ic:種別					
	ic:期間					
	ic:要約					
	ic:説明					
	ic:キーワード					
	出演者					
	ic:対象者					
	ic:人数					

		ic:料金				
		持ち物				
		ic:開催場所				
		ic:参加方法				
		申込方法				
		イベント託児施設				
		イベント参照				
		イベント画像				
		ic:関連イベント				
		ic:関連組織				
		ic:連絡先				
ic:関連組織						イベントに関連する組織を記載。
		ic:役割				「主催」「共催」「後援」「協力」等を記載。
		ic:組織				組織名を正式名で記載。
ic:連絡先						イベントに関する連絡先がある場合には、その内容を記載。
		ic:種別				コールセンター等種別をしいたい場合に記載。
		ic:名称				観光案内電話案内等、問い合わせ先の代表名称を記載。
		ic:組織				連絡先を運営する組織名を記載。
		ic:担当者役職				
		ic:担当者名				
		ic:Eメールアドレス				
		ic:住所				
		ic:送付先				
		ic:電話番号				
		ic:内線番号				
		ic:FAX番号				
		ic:携帯電話番号				

		ic:Webサイト					
		ic:ID					
		ic:対応言語					
	イベント備考						

図 3 詳細データ項目

英語名は IMI の命名規則 (NDR) に従い、単語の頭文字を大文字にして英単語を接続している。

また、検索エンジンでの用語の標準化している Schema.org との関係も下表に整理する。利用した Schema.org の分類は、以下の通りである。

ic:イベント型	Event 英語名	Schema.org
ic:ID	Identification	
ic:名称【正式名称】	Name	Thing>name
ic:名称【通称】	AlternateName	Thing>alternateName
イベント目的	Purpose	
ic:種別	Category	
ic:期間	Duration	Thing>Event>duration
ic:期間【開始日】	StartDate	Thing>Event>startDate
ic:期間【終了日】	EndDate	Thing>Event>endDate
ic:要約	Abstract	
ic:説明	Description	Thing>description
ic:キーワード	Keyword	
出演者	Performer	Thing>Event>performer
ic:対象者	Attendee	Thing>Event>attendee Thing>Event>typicalAgeRange
ic:人数	Capacity	
ic:料金	Admission	
持ち物	Item	Thing>Place>hasMap
ic:開催場所【名称】	Name	Thing>name
ic:開催場所【住所】	Address	Thing>Place>address
ic:参加方法	Participation	
申込方法	Resistration	
イベント託児施設	NursingFacility	
イベント参照	Reference	Thing>url
イベント画像	Image	Thing>image
ic:関連イベント	ReratedEvent	Thing>Event>superEvent Thing>Event>subEvent
ic:関連組織		Thing>Event>organizer
ic:連絡先	ContactInformation	Thing>Place>contactInformation
ic:連絡先【電話】	TelephoneNumber	Thing>Place>telephone
ic:連絡先【fax】	FaxNumber	Thing>Place>faxNumber

図 4 英語対応、schema.org 対応

3. IEP 活用の流れ

3. 1 新規システム構築の場合

データ設計において、本 IEP の活用を検討する。本 IEP に対応することで、インターフェースのカスタマイズを最小限に抑えることができる。

データベース内のデータを詳細項目で記録して、入出力においては利用者に合わせた形で構築する。こうすることで、高い相互運用性と使いやすいインターフェースを両立させること。

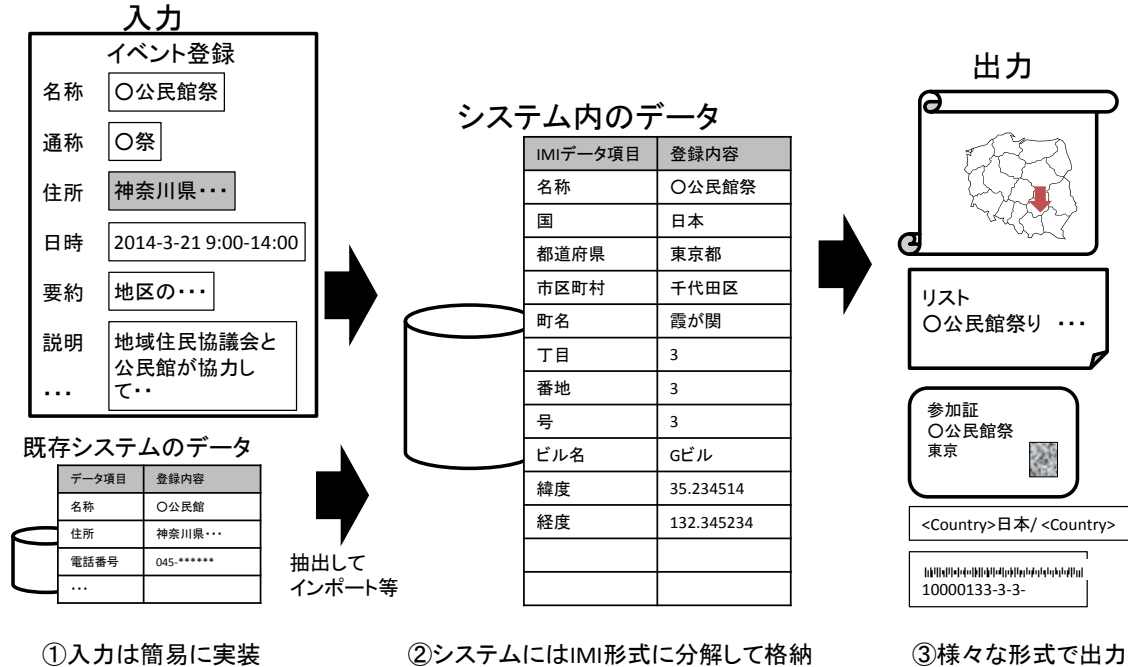


図 5 新規システムでの導入イメージ

(1) 手順 1 データ洗い出し

新システムに必要なデータ項目の洗い出しを行う。また、他システムで持っており、インポート可能なデータを洗い出す。

(2) データ確認とサブセット作成

IMI のデータ項目を見て、過不足を検討する。そして、IMI のデータのうち使用する項目のサブセットを作成する。他システムでインポート可能なデータがある場合、そのデータの対応関係を整理する。

(3) データ実装方式の検討

画面やデータベースでのデータ実装方式を検討する。郵便番号や町字コードから住所を自動入力するなどの工夫を行う。また、他システムでインポート可能なデータがある場合、そのデータの変換方法等を整理する。

3. 2 既存システムの場合

他システムとの情報交換や情報公開のためにデータのインタフェース設計（API を含む）が必要な時に、本 IEP の活用を検討する。本 IEP を活用することで、2 回目以降の変換作業の負担を大幅に減らすことができる。

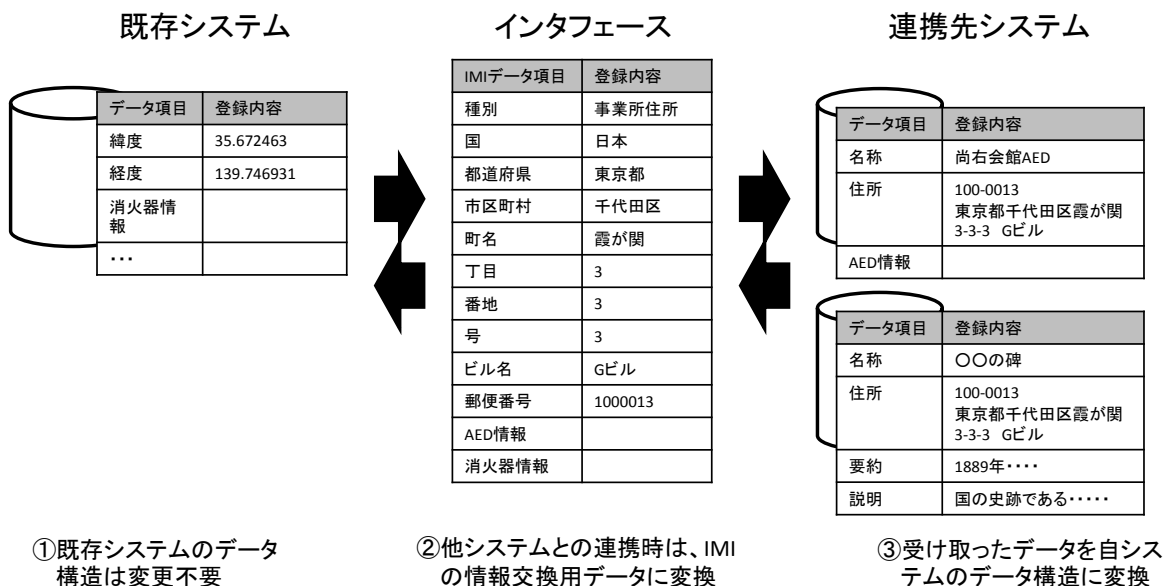


図 6 既存システムでの導入イメージ

(1) データ対応表の作成

自組織内で地物に関するデータベースを持っている時には、IMI のデータ項目に対して対応表を作成する。

(2) 情報交換用データセットに変換

自組織の情報と IMI の対応表、連携先のデータと IMI の対応表を見て、情報交換方式を検討する。双方ともに情報交換用データセットに変換して送受信を行えるように準備する。

(3) IMI 形式データの受信と自組織のデータ形式への変換

データ連携先には、IMI 形式でのデータ送信を依頼する。その上で、IMI 形式で受信したデータを、自組織のデータ形式に変換する。

4. コード等

4. 1 コード、データ

イベントに関する共通のコードはない。

4. 2 グローバル対応

海外からの訪問者や滞在者が増えていることから、多言語での対応も求められている。観光庁では「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」において、英語、中国語（簡体字）、韓国語に対応した対訳後一覧を提供している。語彙の活用において、本対訳を活用されたい。

5. サンプル

サンプル1

データ項目名	説明	サンプル
名称	イベントの正式名称を記載。	大人の社会科見学
サブタイトル	イベントのサブタイトルを記載。	アウトレットパーク横浜ベイサイドへ一緒に行きませんか。
目的	イベントの目的を記載。	参加・交流
分類	イベントの分類を記載。	催し
期間	イベントの期間を記載	2014-9-30
要約	イベントの要約を記載。	有名ブランドがそろそろ、約 70 のアウトレットショップやレストランが入ったアウトレットモールです。建物は 19 世紀のアメリカの街並みをイメージして作られており、一見の価値がありそうです。まだ、行ったことのない人も出かけてみませんか。
説明	イベントの説明を記載。	11:00 シーサイドライン鳥浜駅改札集合 11:10～12:30 アウトレットパーク横浜ベイサイド見学 12:30 現地解散
キーワード		
対象者	イベントの対象者を記載。	一般,シニア
人数	募集人数や定員を記載。	10
料金	料金を記載	0
持ち物	持ち物を記載。	なし
地点	イベントの地点を記載。	アウトレットパーク横浜ベイサイド
路線	イベントの最寄駅のある交通機関	シーサイドライン
申込の期間【開始日】	申込の開始日を記載。	2014-9-11
申込の期間【終了日】	申込の終了日を記載。	2014-9-29
申込手法	申込手法	電話 FAX 担当窓口
申込先の名称	申込先	仲尾台中学校コミュニティハウス

申込先の電話	申込先の電話	045-623-6787
申込先のfax	申込先のfax	045-623-6787
申込先の住所	申込先の住所	〒231-0839 横浜市中区仲尾台 23 仲尾台中学校内
申込の備考	申込の備考	月、火、木、土、日曜日の9時～21時 申込必要事項：申込者氏名、申込者電話番号、申込者年代 注意事項：昼食は自由です。
選抜方法	選抜方法	申込先着順
託児施設	託児施設	なし
参照	参照urlを記載	
画像	画像を記載。	
連絡先	イベントに関する連絡先がある場合には、その内容を記載する	仲尾台中学校コミュニティハウス 横浜市中区仲尾台 23 仲尾台中学校内 電話: 045-623-6787 (連絡先名称+住所+電話で合成)

図 7 サンプル 1

サンプル 2

データ項目名	説明	サンプル
名称	イベントの正式名称を記載。	第 8 回長浜ホール音楽祭
サブタイトル	イベントのサブタイトルを記載。	美しき映画音楽の世界へ...
目的	イベントの目的を記載。	見る・聴く
分類	イベントの分類を記載。	芸術・文化
期間	イベントの期間を記載	2014-10-11
要約	イベントの要約を記載。	オーボエの桃原健一さん、フルートの黒住さやかさんを招き、ピアニスト斎藤真理恵がナビゲートするトーク&ライブ
説明	イベントの説明を記載。	
キーワード		
対象者	イベントの対象者を記載。	こども・青少年一般シニア
人数	募集人数や定員を記載。	104
料金	料金を記載	1000

地点	イベントの地点を記載。	長浜ホール
路線	イベントの最寄駅のある交通機関	シーサイドライン 京浜急行本線 京浜急行逗子線
申込の期間【開始日】	申込の開始日を記載。	2014-9-11
申込の期間【終了日】	申込の終了日を記載。	2014-10-11
申込手法	申込手法	電話、FAX、担当窓口
申込先の名称	申込先	長浜ホール担当
申込先の電話	申込先の電話	045-782-7371
申込先のfax	申込先の fax	045-782-7389
申込先のemail		nagahama-hall@nagahama-hall.com
申込先の住所	申込先の住所	〒236-0011 横浜市金沢区長浜 114-4 長浜野口記念公園内
申込の備考	申込の備考	申込必要事項：申込者氏名、申込者電話番号、申込者年代
選抜方法	選抜方法	先着順(チケット等購入)
託児施設	託児施設	なし
参照	参照urlを記載	http://nagahama-hall.com/
画像	画像を記載。	
連絡先	イベントに関する連絡先がある場合には、その内容を記載する	長浜ホール担当 横浜市金沢区長浜 114-4 長浜野口記念公園内 電話:045-782-7371 (連絡先名称+住所+電話で合成)
備考	備考	注意事項：※未就学児童の来場はお断りします。 ※客席へは 13:30 よりチケット番号順(ご予約およびご購入先着順)の入場とさせていただきます。

図 8 サンプル 2

サンプル 3

データ項目名	説明	サンプル
名称	イベントの正式名称を記載。	ヨガ教室
目的	イベントの目的を記	学ぶ

	載。	
分類	イベントの分類を記載。	スポーツ・健康
定期スケジュール_種別		週間
定期スケジュール_開催日		2014-9-19
定期スケジュール_有効開始日時		2014-9-19
定期スケジュール_有効終了日時		2014-12-12
定期スケジュール_開始時間		9:20
定期スケジュール_終了時間		10:20
定期スケジュール_説明		
定期スケジュール_種別		週間
定期スケジュール_開催日		2014-9-19
定期スケジュール_有効開始日時		2014-9-19
定期スケジュール_有効終了日時		2014-12-12
定期スケジュール_開始時間		10:40
定期スケジュール_終了時間		11:40
定期スケジュール_説明		
要約	イベントの要約を記	ヨガを通じて自分の身体を知り、元気に健康に

	載。	暮らす。
説明	イベントの説明を記載。	
人数	募集人数や定員を記載。	120
料金	料金を記載	全 12 回 5000 円
地点	イベントの地点を記載。	能見台地区センター（体育室）
路線	イベントの最寄駅のある交通機関	京浜急行本線 京浜急行逗子線
申込の期間【開始日】	申込の開始日を記載。	2014-7-25
申込の期間【終了日】	申込の終了日を記載。	2014-8-28
申込手法	申込手法	往復はがき
申込先の名称	申込先	能見台地区センター
申込先の電話	申込先の電話	045-787-0080
申込先の fax	申込先の fax	045-787-0090
申込先の email		nagahama-hall@nagahama-hall.com
申込先の住所	申込先の住所	〒236-0058 金沢区能見台東 2-1
申込の備考	申込の備考	申込み備考：返信はがきを添えて受付に 申込必要事項：申込者氏名 申込者〒・住所 申込者電話番号 講座名、時間帯(1)または(2)
選抜方法	選抜方法	抽選(必着)
通知方法		返信はがき
託児施設	託児施設	なし
参照	参照 url を記載	http://nagahama-hall.com/
画像	画像を記載。	
主催		能見台地区センター
共催		ヘルシーヨガ
連絡先	イベントに関する連絡先がある場合には、その内容を記載する	能見台地区センター 金沢区能見台東 2-1 電話:045-782-7371 (連絡先名称+住所+電話で合成)
備考	備考	① 9:20-10:20 ② 10:40-11:40 の 2 コース

図 9 サンプル 3

サンプル4

データ項目名	説明	サンプル
名称	イベントの正式名称を記載。	肺がん検診
目的	イベントの目的を記載。	サービス利用
分類	イベントの分類を記載。	医療・衛生
対象者	イベントの対象者を記載。	40歳以上の人
人数	募集人数や定員を記載。	50
料金	料金を記載	X線のみ 680円 X線+喀痰 1350円
地点	イベントの地点を記載。	金沢区役所 (4階12番 健康相談室)
申込の期間【開始日】	申込の開始日を記載。	2014-8-19
申込手法	申込手法	往復はがき
申込先の名称	申込先	健康づくり係 (3階3番)
申込先の電話	申込先の電話	045-788-7840
申込の備考	申込の備考	申込み備考：返信はがきを添えて受付に 申込必要事項：申込者氏名 申込者〒・住所 申込者電話番号 講座名、時間帯(1)または(2)
選抜方法	選抜方法	先着
備考	備考	無料でがん検診が受けられる人 70歳以上の人など (保険証などの提示) 世帯全員が「市県民税非課税」や「均等割のみ課税」の人など (事前に健康づくり係で手続きが必要です。)

図 10 サンプル4